

平成 19 年度大気・水質等の常時監視結果と公害苦情の概要

1 大 気

(1) 二酸化窒素、二酸化いおう等

二酸化窒素、二酸化いおう等の常時監視を 37 測定局（一般測定局 33、自動車排出ガス測定局 4）で実施しました。その結果は、次のとおりです。

二酸化硫黄、二酸化窒素、一酸化炭素の環境基準^{*1}の達成率は 100%でした。

浮遊粒子状物質の環境基準達成率は、長期的評価では 97%でした。なお、短期的評価は 47%でした。

光化学オキシダントは全局で環境基準非達成でしたが、光化学スモッグ注意報等の発令はありませんでした。

* 1 環境基準：環境上の条件について、人の健康を保護し、および生活環境を保全する上で維持されることが望ましい基準とされており、環境基準を超過したとしても、ただちに人の健康に影響を及ぼすものではありません。

* 2 長期的評価：1 年間の測定を通じて得られた 1 日平均値のうち、高い方から数えて 2% の範囲にある測定値（例えば、年間の有効測定日が 365 日の場合には、7 個の測定値）を除外した後の最高値を環境基準と比較して評価を行うこと。

* 3 短期的評価：1 時間値、1 日平均値、8 時間平均値を環境基準と比較して評価を行うこと。

(2) 有害大気汚染物質

有害大気汚染物質のうち、優先取組物質^{*13} 項目について、5 地点で測定しました。その結果は、次のとおりです。

環境基準が定められている 4 項目（ベンゼン等）については、すべての地点で環境基準を達成していました。

指針値が定められている 7 項目（塩化ビニルモノマー等）については、すべての地点で指針値を達成していました。

* 優先取組物質：有害性の程度や大気環境の状況等に鑑み健康リスクがある程度高いと考えられる有害大気汚染物質

(3) 酸性雨

福井市および越前町の 2 地点で、酸性雨調査を実施しました。その結果、2 地点における降水の年平均 pH^{*}は、4.4 および 4.5 でした。

* pH：雨水中の水素イオン濃度を表す指標で、pH5.6 以下の雨を酸性雨と定義する

(4) ダイオキシン類

ダイオキシン類の常時監視を 9 地点で実施しました。その結果、すべての地点において環境基準を達成していました。

2 自動車騒音

自動車騒音の常時監視を 34 区間で実施しました。その結果、評価の対象となった全 6,055 戸のうち、5,799 戸（95.8%）が昼夜とも環境基準を達成しました。

3 水 質

(1) 公共用水域

公共用水域の水質の常時監視を 113 地点(河川 58、湖沼 16、海域 39)で実施しました。その結果は、次のとおりです。

人の健康の保護に関する環境基準（健康項目）は、すべての地点で環境基準を達成していました。

生活環境の保全に関する環境基準（生活環境項目）の適合率は、河川の B O D（生物化学的酸素要求量）については、井の口川（豊橋）で不適合のため 98%でした。

また、湖沼の C O D（化学的酸素要求量）については、北潟湖の 5 地点と三方五湖の 2 地点で不適合のため 56%でした。

一方、海域の C O D については、100%でした。

(2) 地下水

地下水の水質の常時監視を定期モニタリング調査 32 地区、概況調査 60 地区で実施しました。その結果は、次のとおりです。

平成元年度から 18 年度までの調査で環境基準を超える地下水汚染が確認された 32 地区において、定期モニタリング調査を実施しており、19 年度の調査の結果、18 地区で環境基準を下回っていました。（平成 18 年度調査に比べ 1 地区改善）

また、定期モニタリング調査において環境基準を超えた 14 地区を汚染原因別にみると、トリクロロエチレン等による人為的原因が 10 地区、砒素による自然的原因が 4 地区でした。

なお、人為的原因により環境基準を超えた 10 地区についても、最近 2 年間の平均濃度をこれまでの最高検出濃度と比較すると、13～67%の濃度に改善されました。

平成 19 年度に実施した概況調査等において、新たに 3 地区で環境基準を超える地下水汚染が確認されたため、汚染井戸周辺地区調査を実施しました。

その結果、2 地区では、一部の周辺井戸でも環境基準を超える汚染が確認されたため、原因者への浄化対策指導や住民への周知を行いました。その他 1 地区については、汚染範囲は 1 井戸に限定しており、周辺井戸では環境基準以下でした。

(3) ダイオキシン類

ダイオキシン類について、公共用水域の水質、底質および地下水質の常時監視を実施しました。その結果は、次のとおりです。

公共用水域の水質の常時監視を 21 地点（河川 18、湖沼 1、海域 2）で実施した結果、2 地点（馬渡川、八ヶ川）で環境基準を超えて検出されました。

環境基準の超過原因として、農薬由来（過去に使用された農薬中の不純物）に加え、流域に位置する事業場排水の影響が考えられ、事業者に対し低減対策を指導しました。

事業者は、ダイオキシン類含有の少ない染料への代替など改善対策を実施しており、20 年度に追跡調査を実施した結果、馬渡川、八ヶ川とも環境基準以下でした。

なお、飲用、漁業の利用がないため健康への影響はありません。

公共用水域の底質の常時監視を 20 地点（河川 17、湖沼 1、海域 2）で実施しました。その結果、すべての地点で環境基準を達成していました。

廃棄物最終処分場周辺の 9 地点で地下水の常時監視を実施しました。その結果、すべての地点で環境基準を達成していました。

4 土 壤

廃棄物焼却施設周辺の土壌のダイオキシン類について、10 地点で常時監視を実施しました。その結果、すべての地点で環境基準を達成していました。

5 公害苦情

県および市町が受けた公害苦情の総件数は 815 件で、平成 18 年度に比べ 46 件（5.3%）減少しています。

大気汚染、水質汚濁等の典型 7 公害に関する苦情は 601 件（全苦情の 74%）で、平成 18 年度（618 件）と比べ、17 件（2.8%）減少していました。

典型 7 公害以外の苦情は 214 件（全苦情の 26%）で、平成 18 年度（243 件）と比べ、29 件（11.9%）減少していました。

1 大気の測定結果

(1) 二酸化窒素、二酸化いおう等

環境基準達成状況

測定項目		二酸化 いおう	二酸化 窒 素	浮遊粒子状 物 質	一酸化炭素	光化学 オキシダント	炭化水素
環境基準 の達成率	長期的 評価 ^{注1}	100% ()	100% (100%)	97% (100%)	100% (100%)		環境基準 な し
	短期的 評価 ^{注2}	100% ()		47% (0%)	100% (100%)	0% (0%)	
有効測定 局数 ^{注3}		24 ()	31 (4)	36 (3)	5 (4)	22 (1)	11 (4)

()内数字は「自動車排出ガス測定局」にかかるもので、内数。

注1 長期的評価とは、1年間の測定を通じて得られた1日平均値のうち、高い方から数えて2%の範囲にある測定値（例えば、年間の有効測定日が365日の場合には、7個の測定値）を除外した後の最高値を環境基準と比較して評価を行うこと。

注2 短期的評価とは、1時間値、1日平均値、8時間平均値を環境基準と比較して評価を行うこと。

注3 有効測定局とは、年間の測定時間が6,000時間以上のもの（ただし、光化学オキシダントおよび炭化水素を除く）。

光化学スモッグ注意報の発令状況

注意報等の発令日数 : なし

(2) 有害大気汚染物質

(単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$)

測定地点 項 目	福井市	敦賀市	坂井市	越前市	鯖江市	環境基準 (指針値)	(参考)18年度全国値		
							平均	最小	最大
テトラクロロ エチレン	0.14	0.06	0.19	0.08	0.08	200	0.31	0.0075	6.4
トリクロロ エチレン	0.42	0.15	0.62	0.19	1.10	200	0.90	0.0045	13
ベンゼン	1.4	1.4	0.91	1.2	1.6	3	1.7	0.40	4.5
ジクロロメタン	1.8	0.57	0.87	1.5	3.7	150	2.8	0.18	180
アクリロ ニトリル	0.028	0.024	0.024	0.029	0.024	(2)	0.11	0.0075	1.4
塩化ビニル モノマー	0.10	0.028	0.042	0.18	0.21	(10)	0.078	0.0029	4.0
水銀及び その化合物	0.0019	0.0016	0.0016	0.0017	0.0016	(0.04)	0.0022	0.00073	0.0048
ニッケル化合物	0.0064	0.0036	0.014	0.0023	0.0073	(0.025)	0.0056	0.00057	0.038
クロロホルム	0.13	0.10	0.61	0.12	0.14	(18)	0.23	0.006	3.0
1,2-ジクロロ エタン	0.083	0.091	0.076	0.081	0.082	(1.6)	0.15	0.0045	4.6
1,3-ブタジエン	0.14	0.074	0.067	0.12	0.18	(2.5)	0.23	0.0065	1.5
アセト アルデヒド	2.4	1.4	0.39	1.6	4.8	-	2.7	0.72	8.8
ホルム アルデヒド	2.1	1.3	0.90	1.6	2.3	-	3.1	0.53	8.8

(3) 酸性雨

測定地点	福井市			越前町		
	17年度	18年度	19年度	17年度	18年度	19年度
pH	4.4	4.5	4.4	4.5	4.6	4.5

(4) ダイオキシン類

(単位: pg-TEQ / m³)

測定期間 (測定回数)	地域	測定地点数	環境基準 超過地点数	測定結果 (平均値)	環境基準
H19.4~20.3 (年4回)	一般地域 ^{注1}	4	0	0.027~0.057 (0.039)	0.6
	廃棄物焼却施設周辺	5	0	0.019~0.054 (0.031)	

注1 一般地域: 廃棄物焼却施設周辺地域および沿道地域(主として自動車排ガスの影響を受ける地域)を除く住居地域をいう。

2 自動車騒音の常時監視結果

No	路線名	評価区間	環境基準達成率		
			昼・夜とも	昼間について	夜間について
1	北陸自動車道	あわら市 牛ノ谷~熊坂	100%	100%	100%
2	北陸自動車道	あわら市 熊坂~東山	100%	100%	100%
3	北陸自動車道	坂井市 丸岡町川上~丸岡町小黒	100%	100%	100%
4	国道8号線	鯖江市 鳥羽町~御幸2丁目	91.4%	96.9%	91.4%
5	国道8号線	鯖江市 神中2丁目~柳町4丁目	23.1%	49.2%	23.1%
6	国道27号線	敦賀市 若葉町~金山	44.7%	52.6%	44.7%
7	国道27号線	敦賀市 金山~沓見	-	-	-
8	国道27号線	美浜町 佐田~佐田	-	-	-
9	国道27号線	美浜町 佐田~金山	48.4%	81.6%	48.4%
10	国道416号線	福井市 川尻町~佐野町	100%	100%	100%
11	国道416号線	福井市 佐野町~高屋町	100%	100%	100%
12	国道416号線	福井市 高屋町~八つ島町	100%	100%	100%
13	国道416号線	福井市 八つ島町~二の宮5丁目	100%	100%	100%
14	国道416号線	福井市 二の宮5丁目~二の宮2丁目	100%	100%	100%
15	国道416号線	福井市 二の宮2丁目~新保町	100%	100%	100%

16	国道416号線	福井市 新保町～重立町	100%	100%	100%
17	国道417号線	鯖江市 桜町3丁目～三六町1丁目	99.7%	99.7%	99.7%
18	国道476号線	福井市 東俣町～西河原町	100%	100%	100%
19	丸岡川西線	福井市 布施田町～佐野町	100%	100%	100%
20	福井金津線	坂井市 坂井町東長田～坂井町下関	100%	100%	100%
21	福井金津線	あわら市 上番～花乃社1丁目	100%	100%	100%
22	福井金津線	福井市 天池町～天池町	100%	100%	100%
23	福井金津線	福井市 天池町～定正町	100%	100%	100%
24	福井三国線	福井市 高屋町～二日市町	100%	100%	100%
25	吉野福井線	永平寺町 松岡宮重～松岡西野中	100%	100%	100%
26	吉野福井線	福井市 坂下町～米松1丁目	100%	100%	100%
27	吉野福井線	福井市 米松1丁目～大手3丁目	99.6%	99.6%	100%
28	淵上志比口線	福井市 勝見3丁目～志比口1丁目	99.8%	99.8%	100%
29	小曾原武生線	越前市 宝来町～村国2丁目	100%	100%	100%
30	福井金津線	福井市 上森田町1丁目～定正町	99.2%	99.2%	100%
31	鷹巣港線	福井市 蓑町～蓑町	100%	100%	100%
32	清水麻生津線	福井市 小羽町～清水杉谷町	100%	100%	100%
33	吉野福井線	越前市 平林町～勝蓮花町	100%	100%	100%
34	大土呂停車場 下河北線	福井市 半田町～下河北町	100%	100%	100%
全体			95.8%	98.0%	95.9%

太字の区間は測定地点を含む

沿道に住居なし

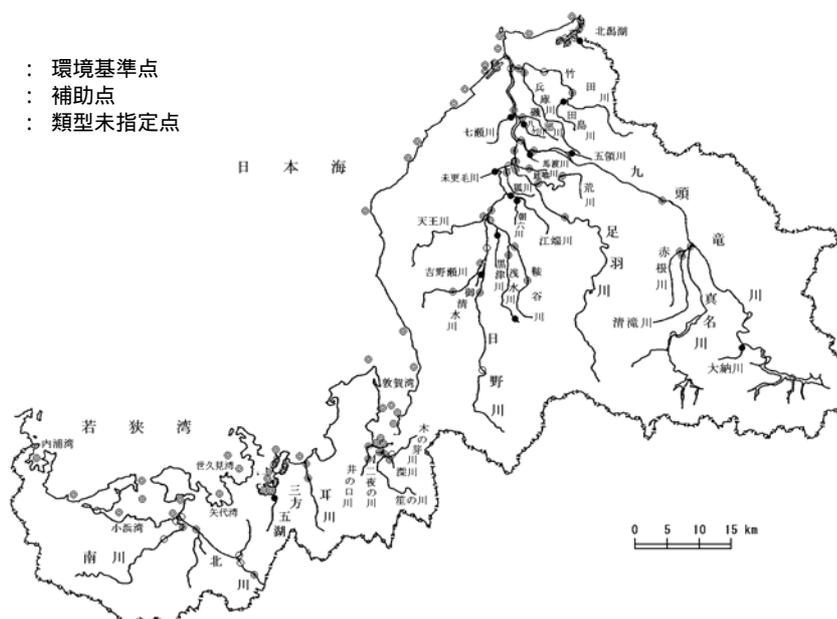
3 水質の測定結果

(1) 公共用水域

水質環境基準の適合率

水 域 名	測定地点数	健康項目	生 活 環 境 項 目			
			BOD (COD)	全窒素	全 燐	
河川	九頭竜川	31	100%	98% 43/44	-	-
	笙の川	4				
	井の口川	2				
	耳川	1				
	北川	5				
	南川	1				
類型未指定河川		14	-	-	-	
湖沼	北潟湖	7	100%	56% 9/16	36% 5/14	36% 5/14
	三方五湖	9				
海域	九頭竜川地先	6	100%	100% 39/39	94% 15/16	94% 15/16
	越前加賀海岸地先	12				
	敦賀湾	7				
	小浜湾	6				
	世久見湾	1				
	矢代湾	1				
	内浦湾	1				
	若狭湾東部	5				
合 計		113	-	-	-	-

公共用水域概況図



(2) 地下水

平成 19 年度定期モニタリング調査結果

地区名	汚染物質 (環境基準)	汚染発見 年月	19年度 調査結果 (年平均値)	これまでの調査による濃度変化			
				最高検出 濃度 A(mg/L)	最高濃度検出 井戸での最近 2年間平均値 B(mg/L)	B / A × 100 (%)	
1 福井市麻生津	砒素 ^{注2} (0.01mg/L)	16年 6月	0.028	0.033	0.021		
2 越前市塚町・三ツ屋町		12年 6月	0.018	0.031	0.016		
3 若狭町東部		9年12月	0.090	0.15	0.078		
4 高浜町菌部		2年11月	0.030	0.039	0.029		
5 永平寺町光明寺	1,2-ジクロロエチレン (0.004mg/L)	12年 5月	<0.0004 ^{*1}	0.015	0.0004 ^{*2}	3	
6 福井市江守中 ^{注1}	トリクロロエチレン (0.03mg/L)	10年 9月	<0.002 ^{*1}	<0.002	<0.002 ^{*2}		
7 福井市石橋町 ^{注1}		10年 9月	0.002 ^{*1}	0.017	0.003 ^{*2}	18	
8 越前市吉野		1年11月	0.051	0.11	0.049	45	
9 越前市大虫		2年 2月	0.027 ^{*1}	0.12	0.027 ^{*2}	23	
10 越前市米口町		10年 9月	0.010 ^{*1}	0.17	0.014 ^{*2}	8	
11 鯖江市豊		2年 6月	0.034	0.064	0.033	52	
12 鯖江市神明南部		4年 5月	0.11	0.37	0.11	30	
13 鯖江市立待南部		7年10月	0.022 ^{*1}	0.054	0.022 ^{*2}	41	
14 鯖江市立待北部		8年 5月	0.029 ^{*1}	0.12	0.026 ^{*2}	22	
15 鯖江市上河内町		8年 6月	0.009 ^{*1}	0.31	0.009 ^{*2}	3	
16 鯖江市立待西部		8年10月	0.030 ^{*1}	0.16	0.027 ^{*2}	17	
17 越前町小曾原1区 ^{注1}		10年 9月	<0.002 ^{*1}	<0.002	<0.002 ^{*2}		
18 越前町小曾原3区 ^{注1}		10年 9月	<0.002 ^{*1}	<0.002	<0.002 ^{*2}		
19 敦賀市布田町		テトラクロロエチレン (0.01mg/L)	11年 5月	0.0077 ^{*1}	0.021	0.0080 ^{*2}	38
20 越前市北府			1年11月	0.010 ^{*1}	0.030	0.012	40
21 大野市新町			1年12月	0.011	0.065	0.0082 ^{*2}	13
22 勝山市滝波町			8年 5月	0.0035 ^{*1}	0.024	0.0038 ^{*2}	16
23 鯖江市本町			5年 4月	0.11	0.38	0.13	34
24 鯖江市横越町	7年 5月		0.0024 ^{*1}	0.017	0.0023 ^{*2}	14	
25 永平寺町牧福島	4年 5月		<0.0005 ^{*1}	0.087	0.0005 ^{*2}	1	
26 高浜町立石	硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素 (10mg/L)	15年 5月	38	48	32	67	
27 福井市蒲生		15年 5月	4.5 ^{*1}	13	4.4 ^{*2}	34	
28 鯖江市水落	六価クロム (0.05mg/L)	12年 8月	0.18	0.54	0.17	31	
	硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素 (10mg/L)	15年 5月	5.5 ^{*1}	28	6.2 ^{*2}	22	
29 高浜町東三松	砒素 ^{注2} (0.01mg/L)	12年 6月	0.006 ^{*1}	0.032	0.006 ^{*2}		
	硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素 (10mg/L)	12年 8月	32	51	27	53	
30 鯖江市立待東部	1,1-ジクロロエチレン (0.02mg/L)	7年12月	0.060	0.13	0.056	43	
	トリクロロエチレン (0.03mg/L)		0.010 ^{*1}	0.099	0.010 ^{*2}	10	
31 越前市王子保	1,2-ジクロロエチレン (0.04mg/L)	6年11月	0.050	0.097	0.051	53	
	トリクロロエチレン (0.03mg/L)	2年 7月	0.011 ^{*1}	0.11	0.010 ^{*2}	9	
32 鯖江市筋生田町	1,2-ジクロロエチレン (0.04mg/L)	11年10月	0.040 ^{*1}	0.073	0.036 ^{*2}	49	
	トリクロロエチレン (0.03mg/L)		0.026 ^{*1}	0.11	0.028 ^{*2}	25	

注1 環境基準の超過が、1井戸に限定された地区。

注2 砒素による地下水汚染の原因は、いずれも自然由来と考えられます。

*1は、平成19年度の年平均値が、*2は、最近2年間の平均値が環境基準以下になったことを示します。

平成 19 年度に新たに環境基準超過が認められた地区

地区名	汚染物質 (環境基準)	汚染発見 年月	周辺地区調査結果 (年平均値) (mg/L)
越前市家久町 ^{注1}	砒素 (0.01mg/L)	19年 4月	<0.005 ~ 0.016
	総水銀 (0.0005mg/L)		<0.0005 ~ 0.0090
	ベンゼン (0.01mg/L)		<0.001 ~ 0.072
福井市美山町	テトラクロロエチレン (0.01mg/L)	19年 4月	<0.0005 ~ 0.017
福井市新田塚 ^{注2}	テトラクロロエチレン (0.01mg/L)	19年11月	<0.0005 ~ 0.029

注1 周辺住宅地への汚染の拡散はなく、周辺住民の健康に影響を及ぼすおそれはない。

注2 環境基準の超過が、1井戸に限定された地区。

(3) ダイオキシン類

(単位：水質 pg-TEQ / L、底質 pg-TEQ / g)

区分	測定期間 (測定回数)	地域	測定地点数	環境基準 超過地点数	測定結果 (平均値)	環境基準
公共用水域 水質	H19.6 ~ 20.2 (年1~4回)	河川	18	2	0.031 ~ 1.7 (0.39)	1
		湖沼	1	0	0.16	
		海域	2	0	0.043 ~ 0.050 (0.047)	
公共用水域 底質	H19.9 ~ 19.10 (年1回)	河川	17	0	0.084 ~ 69 (10)	150
		湖沼	1	0	41	
		海域	2	0	5.2 ~ 9.4 (7.3)	
地下水質	H19.7 (年1回)	廃棄物最終処分場 周辺	9	0	0.012 ~ 0.023 (0.015)	1

4 土壤の測定結果

(単位：土壤 pg-TEQ / g)

項目	測定期間 (測定回数)	地域	測定地点数	環境基準 超過地点数	測定結果 (平均値)	環境基準
ダイオキシン類	H19.7 (年1回)	廃棄物焼却 施設周辺	10	0	0.0018~2.0 (0.46)	1,000

5 公害苦情

公害苦情件数

種類		年度					19年度 構成比%
		15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	
典型7公害	大気汚染	276	263	187	265	236	29.0%
	水質汚濁	118	153	125	157	172	21.1%
	土壤汚染	0	0	0	4	0	0.0%
	騒音	67	72	67	76	74	9.1%
	振動	4	9	5	10	5	1.2%
	地盤沈下	0	0	0	0	2	0.2%
	悪臭	69	78	93	106	112	13.7%
典型7公害小計		534	575	477	618	601	73.7%
典型7公害以外		110	117	157	243	214	26.3%
合計		644	692	634	861	815	100.0%
対前年度増減数		103	48	58	227	46	-
増減率		19.0%	7.5%	8.4%	35.8%	5.3%	-

■ 大気汚染 ■ 水質汚濁 ■ 土壤汚染
■ 騒音 ■ 振動 ■ 悪臭
■ 典型7公害以外

